## ＣＰＣ研修マニュアル

指導医も診療や研究の合間で指導を行っていますので、ＣＰＣ予定月３ヶ月以上前に、余裕を持って臨床科指導医または病理診断科指導医に連絡をとり準備を開始しましょう。

○臨床科指導により：臨床経過や検査所見や問題点、解剖で明らかにしたい問題点をまとめたもの及び考察についてスライドと配布資料を作成。

○病理診断科指導により：肉眼所見および組織所見を観察し、所見と診断をまとめたスライドを作成。剖検報告書を作成し配布。

適宜指導医に指導を受けてください。

担当研修医と臨床科指導医および病理診断科指導医の都合が合う開催日を決めて下さい。

病院の内外に対して広報を行いますので、１ヶ月前にＣＰＣのタイトルを、臨床医学教育研修センター（医療人育成・支援センター）に報告してください。

２週間前には臨床科指導医と病理診断科指導医と臨床研修医で打ち合わせをして下さい。

ＣＰＣ終了後にＣＰＣレポートを作成し、臨床科指導医、病理診断科指導医、剖検責任者（病理部長）に押印いただいた後、一ヶ月以内を目途に臨床医学教育研修センター（医療人育成・支援センター）に提出してください。ＣＰＣレポートとは、臨床と病理双方の発表内容、質疑応答、考察が含まれたものです。なお、臨床研修のホームページの下記ページ最下段にレポート様式があります。

<https://www.fmu.ac.jp/home/knsh/training/>

指導医により修正が指示される場合があるので、期日に余裕を持って提出しましょう。

※症例呈示のための資料やＣＰＣレポート作成では、記載内容は以下の参考資料を基にして、標準的書式で行って下さい。

・新医師臨床研修制度におけるＣＰＣレポートはいかにあるべきか

(医学のあゆみ, 204:891-901, 2003)

・臨床研修必携：ＣＰＣレポート作成マニュアル(南江堂) 医学図書館で閲覧可

・参考図書：臨床病理検討会の進め方・活かし方　ＣＰＣの作法（中山書店）

ＣＰＣ形式でわかる身につく　病理所見の見かた、病態の考えかた（羊土社）

→参考図書は研修医室内図書室に設置しています。

### ＣＰＣ調整担当

臨床医学教育研修センター

（医療人育成・支援センター）

堀（内線 ３２３３）

**ＣＰＣレポート**

作成日　　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名  患者番号（病歴番号）  年齢　　　歳　　性別　男　・　女  診療期間　自　　　年　　月　　日  　　　　　至　　　年　　月　　日  剖検番号  剖検日　　　　年　　月　　日 | 研修医名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印  臨床指導医氏名  　　　　　　　　　印  病理指導医氏名  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印  剖検責任者氏名  　　　　　　　　　印  プログラム責任者  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 臨床診断 | |
| 入院病歴  【主訴】  【家族歴】  【既往歴】  【嗜好】  【現病歴】  【入院時現症】  【検査所見】  【入院後経過】  【臨床上の問題点】 | |

|  |
| --- |
| 【病理所見】  【病理診断】  【CPCにおける討議内容のまとめ】  【臨床上の問題点への考察】  【症例のまとめ】  ※フローチャートなどを使い病態や臓器所見の関連を明確に示す  【考案】  【本症例に対し上級医から受けた指導内容】 |